

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

宇治市

事業名

多様な学びの場創造事業

事業の経過・背景・課題

宇治市の特別支援学級の在籍者数、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒数は増加傾向である。障害特性は多様化しており、様々な教育的ニーズへの対応、多様な場での学びを実現するための支援や対応が学校に求められている。

特別支援学級に在籍している児童生徒へのきめ細やかな支援体制の構築、通常の学級に在籍する支援を必要とする児童生徒の学習面および生活面での支援が課題となっている。

取組内容

交付実績額： 5,477 千円

- ・市内の小中学校 3 校をモデル校とし、専門性の高い関係機関（＝府立特別支援学校）・府教委との連携により、特別支援教育の効果的な指導方法の向上、校内支援体制を構築
- ・モデル校に元教員で特別支援教育について専門性の高い インクルーシブサポーターを配置し、まずは特別支援学級に在籍している児童生徒へのきめ細やかな支援や指導、支援体制の構築等についての研究や、インクルーシブ教育の先進校を視察
- ・研究内容の検討や進捗状況等を確認するため、研究協議会やプロジェクト会議、インクルサポーター会議を実施する。

【実施スケジュール】

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 令和6年4月～令和7年3月 | ： 年間を通じて各校実践 |
| 令和6年6月 | ： 宇治市インクルーシブ教育システム研究協議会開催 |
| 令和6年1月～令和7年2月 | ： モデル校による公開授業・研究協議 |
| 令和7年3月 | ： プロジェクト会議開催 |
| 定期的（月1回） | ： インクルサポーター会議 |

事業の成果・今後の展望等

児童生徒の実態把握を多角的な視点から行い、よりよい支援方法や支援の場の検討を行うとともに、インクルーシブ教育は、通常の学級も含めた学校全体で行うものだという教員の意識改革を研修等を通して行い、授業のユニバーサルデザインなどの授業改善に取り組むことができた。

また、特別支援学級での授業形態を見直し、小集団での一斉授業を充実させることで、互いを知り認め合う関係づくりが進んだ。

今後はさらに市内小中学校の特別支援学級における指導力を高めることに加えて、令和7年に設置予定の乳幼児期教育・保育支援センター（仮）との連携強化による就学前からの連続性のある支援を行い子どもの育ちを保障していく。

問い合わせ先

宇治市教育委員会学校教育課（0774-21-1879）